

側溝・水路用蓋 / 埋設型枠

D102-1.01

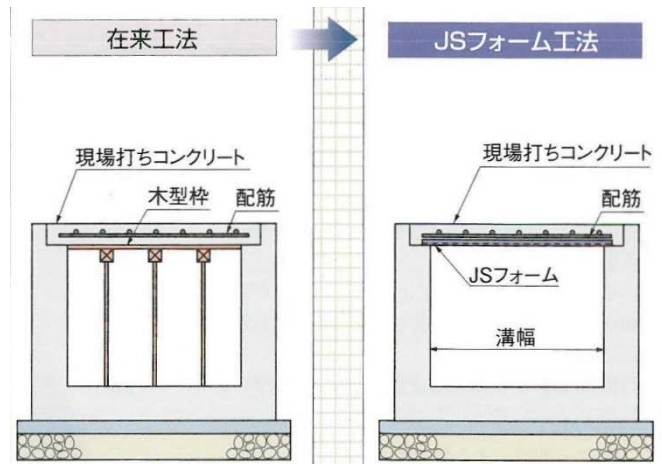
平成 29 年 01 月

既設の道路側溝や水路の暗渠化の際、蓋を現場打ちコンクリートで施工する場合の埋設型枠です。

パネル自体に強度が有りサポート不要、通水中でも施工可能、薄板なので軽量・作業性が良い、ダイヤモンドカッターによる現場加工可能、コンクリートの付着が良い、解体作業無し、残材発生無し、などの利点が多い。

作業の流れは下記のように、側溝・水路の天端を揃え、サポート無しでパネルを敷設します。その上に所定の配筋をしてコンクリートを打設します。これで完了して、潜ってのサポート・型枠の撤去は必要ありません。

必要によりグレーチングや集水部材を配して、排水します。



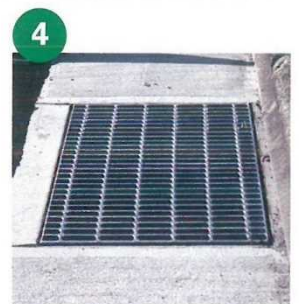
1 KCフォームの上に配筋した状態



2 コンクリート打設



3 工事完了



4 グレーチング設置

製品仕様

側溝・水路巾が 250~600 mm の場合 K C フォーム、600~1, 500 mm の場合 J S フォームを使用する。

K C フォームパネル



形状	平板	
標準板厚	呼称 250、300	6 mm
	350、400	8 mm
	450、500	1 0 mm
	550、600	1 3 mm

J S フォームパネル



形状	リブ付き平板	
標準板厚	平板板厚	1 0 mm
呼称	600~1, 150	Aリブ 総厚 37 mm
	1, 150~1, 350	Bリブ 42 mm
	1, 100~1, 500	Cリブ 47 mm

蓋厚と側溝巾の組合せにより板厚を選択する

施工例

■施工前



■施工後



■施工前



■施工後



▼宮崎県都市

集水のために通常グレーチングを配するが、集水部材を打込むことで一体化でき、表面質感も同じになる。

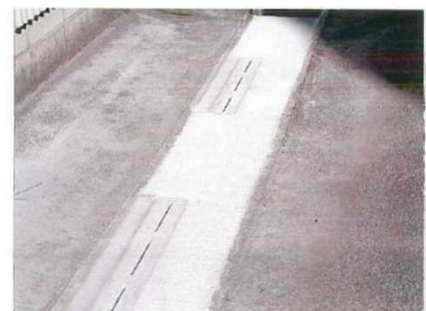


写真左から:細目タイプ、並目タイプ、太目タイプ



スリットフォーム取付

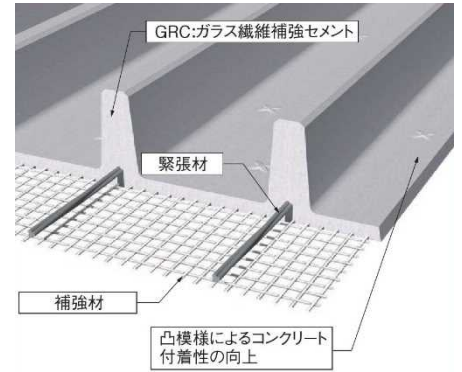
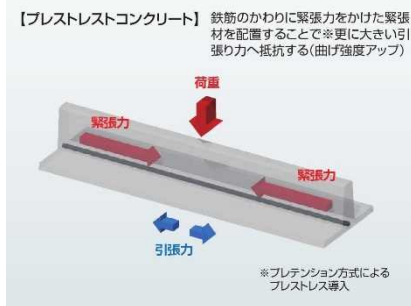
集水するスリット部にコンクリートが入らないようにテープを貼り、KCフォームの孔に塩ビ管を差し込むように取り付けます。



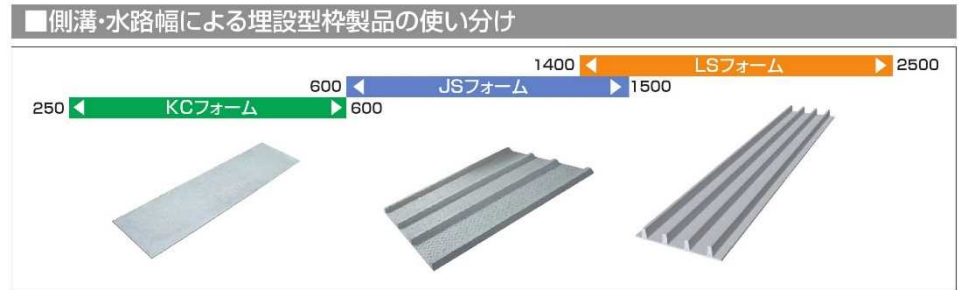
完成

水路幅 1,500mm 以上の場合に、新技術：GRC にプレストレストを適用した製品を使用

軽量性を活かしたまま長尺の水路に対応するために、平板部に補強材を配置し、リブ下部にプレストレストを導入する緊張材を配置したパネルを開発した。



使い分け



キャンバー

パネルにはキャンバーが付いているが、コンクリート打設後はフラットになる。



施工例



販売元：インフラテック株式会社

\* 各社/各商品の詳細は、会員名簿から各社ホームページにアクセスして、参照願います。